

とちかおくちょうさし 26 土地家屋調査士

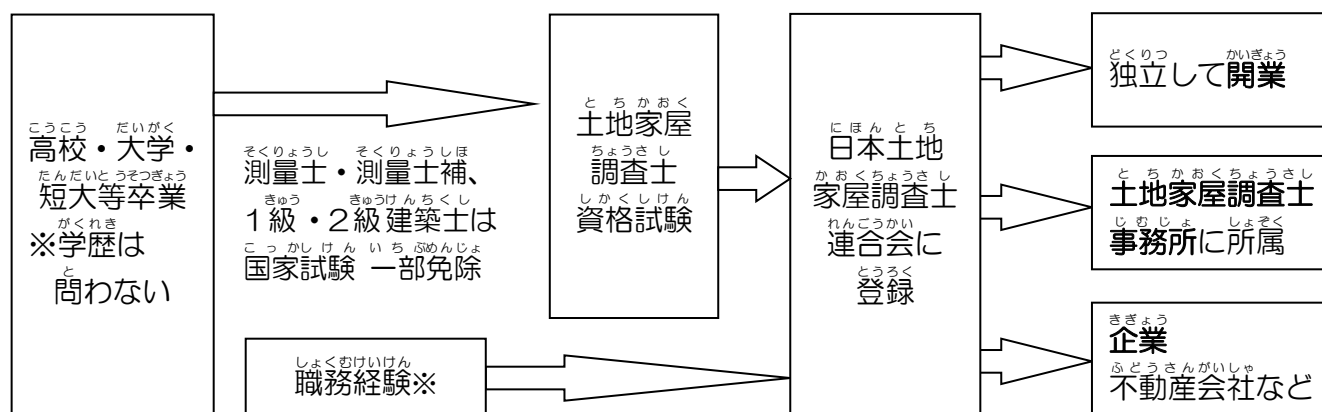


土地や建物を登記するには、土地の形や用途を測量し、図面などの表示に関する登記が必要です。

土地家屋調査士は、依頼を受けて表示に関する登記の申請を手伝う仕事です。

外国人住民が、お店を始めたり、家や土地を買ったりする時に、母国語ができる土地家屋調査士がいれば、その手助けができて、心強い存在となります。

とちかおくちょうさし 土地家屋調査士になるには



※法務局又は地方法務局において不動産の表示に関する登記の事務に従事した期間が通算して10年以上

＜早くから準備をしましょう＞

土地家屋調査士になるためには、土木や建築などの学校や専門学校に入学するのが近道です。

入学するには高い日本語能力や数学などの学力が求められます。

早くから日本語や学校の勉強、母国語の上達に心がけましょう。

＜資格を取れば どのくらいに就職できるの＞

就職先は、企業の不動産関係の部署、土地家屋調査士事務所などです。また、土地家屋調査士事務所等で実務経験を積んだ後、独立開業をする人もいます。

平均年収は約500万円ですが、独立開業などによって1000万円を超える人もいます。

＜費用（学費）はどれくらい？＞

国公立大学で240万円以上（4年間）、私立大学では400万円以上（4年間）かかります。